

○ H27年度点検において、判定区分Ⅳの施設があった場合はメンテナンス会議に報告する。

<判定区分Ⅳのリスト>

○橋梁

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容
○ H27. 12. 15までの点検では、判定区分Ⅳの施設はない。				

○トンネル

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容
○ H27. 12. 15までの点検では、判定区分Ⅳの施設はない。				

○道路附属物等

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容
○ H27. 12. 15までの点検では、判定区分Ⅳの施設はない。				

※判定区分

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

○ 平成26年度の判定区分Ⅳは、トンネル3本であり、これらのトンネルは平成26年度中に補修実施済み。

<判定区分Ⅳのリスト>

○トンネル

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容	今後の予定
甲府河川 国道	観音トンネル	国道20号	1958	早期に落下の恐れのある覆工コンクリートのうき、剥離	剥離防止対策実施済み (H27.2) 日常管理、点検の継続
甲府河川 国道	都留トンネル	国道139号	1987	早期に落下の恐れのある覆工コンクリートのうき、剥離	剥離防止対策実施済み (H27.3) 日常管理、点検の継続
甲府河川 国道	万沢トンネル	国道52号	1971	早期に落下の恐れのある覆工コンクリートのうき、剥離	剥離防止対策実施済み (H26.11) 日常管理、点検の継続

※判定区分

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態